



▲お湯を浴びながら
神輿を担ぐ女性たち



▲必死にブリを抱きしめる参加者

下田温泉祭 天草

温泉の恵みに感謝！

5月8日・9日、「下田温泉祭」が同温泉街一帯で開かれました。これは、同祭実行委員会と下田北地区振興会が、温泉の恵みに感謝しようと毎年開催しているもの。

9日は、神輿を担いだ女性たちが沿道からのお湯を浴びながら、「ヨイヨイヨイヤサ」の威勢のよい掛け声とともに温泉街を練り歩く、メインの「お湯かけ女神輿」やブリのつかみどり大会などが行われ、約8,000人の人出でにぎわいました。

神輿を担いだ参加者は、「担ぎ終えたときの達成感がたまらない。来年もまた担ぎたい」と、満足した表情で話していました。

市消防団御所浦方面隊に女性消防部が発足 御所浦

島の安全、私たちも守ります！

4月1日、市消防団御所浦方面隊に「女性消防部」(荒木伸代部長・部員31人)が発足しました。同部は、主要産業が漁業である御所浦町において、消防団員が漁に出ている時間帯に火災が発生しても消火作業が行えるように、以前から活動していた「婦人防火クラブ」のメンバーを中心に創設されたもの。同20日には発足式が行われ、真新しい制服に身を包んだ部員たちが、指揮者の号令のもときびきびとした動作で規律訓練に取り組んでいました。



▲敬礼をする部員たち

えびす像公園などにこいのぼり設置 倉岳

倉岳大えびすにこいのぼりが舞う

4月から5月にかけて、宮田の「えびす像公園」に約100匹のこいのぼりがあげられ、同所を訪れた観光客や地域住民の目を楽しませました。これは、宮田地区振興会が、漁業と観光が盛んな同地区を盛り上げようと毎年設置しているもので、今年は子どもたちが遊びに集まる、宮田公民館のグラウンドにもあげられました。ゴールデンウィーク中は晴天が続き、観光客や子どもたちなどが、さわやかな風に乗って気持ちよさそうに泳ぐこいのぼりを満喫していました。



▲「倉岳大えびす」のまわりを舞うこいのぼり

モニターツアー 牛深・五和・天草

知る人ぞ知る天草の魅力を満喫！

4月18日・19日、「西海岸に沈む夕日と牛深に息づく『ハイヤ踊り』体験」と題し、天草下島の西海岸などを巡る1泊2日のモニターツアーが行われ、観光客60人が参加しました。

このツアーは、熊本市の旅行業者が、市や(社)天草宝島観光協会などの協力を受けて実施したもので、「くまもと再発見の旅」がテーマ。参加者は、御領まちづくり振興会が企画した、地元ガイドの案内による「御領門前町散策」や、下田温泉から天草灘に沈む夕日鑑賞のほか、牛深ハイヤ保存会による牛深ハイヤ踊り体験など、ひと味違う旅を満喫していました。



▲御領門前町散策で、ガイドの説明を聞く参加者



▲牛深ハイヤ踊り体験のようす

こども読書の日おたのしみ会 本渡

絵本の朗読や人形劇などで子どもたちを魅了

4月24日、市立中央図書館で「こども読書の日おたのしみ会」が開かれ、親子連れなど80人が参加しました。これは、同図書館と熊日童話会が、同23日の「こども読書の日」にちなんで毎年開催しているもので、今年は読書への意識向上を目的に制定されている『国民読書年』も記念して実施されました。

会では、絵本の朗読やパネルシアターのほか、同図書館の職員による手品や人形劇などが披露され、子どもたちを魅了。また、折り紙作りの実演も行われ、参加者は熱心に「かぶと」作りに取り組んでいました。



▲職員と楽しそうにじゃんけんをする子どもたち



▲ハンマーを使って岩石を割る参加者。化石見つかるかな？

ゴールデンウィーク化石教室 御所浦

親子で仲良く化石発掘体験！

5月1日から同5日まで、御所浦白亜紀資料館で「ゴールデンウィーク化石教室」が開かれました。これは同館が、化石に対する興味を深めてもらおうと毎年実施しているもの。

期間中は、県内外から家族連れなど723人が参加し、市学芸員の案内で館内を見学したあと、トリゴニア砂岩化石採集場で化石発掘を体験。参加者は、見つけた化石を手にして熱心に学芸員に尋ねるなど、ふだんは触れる機会が少ない化石に興味津々でした。

なお、同館では7月24・25日、8月21・22日にかけて「夏休み化石セミナー」も行われる予定です。